

大阪府景気観測調査結果

平成26年1～3月期

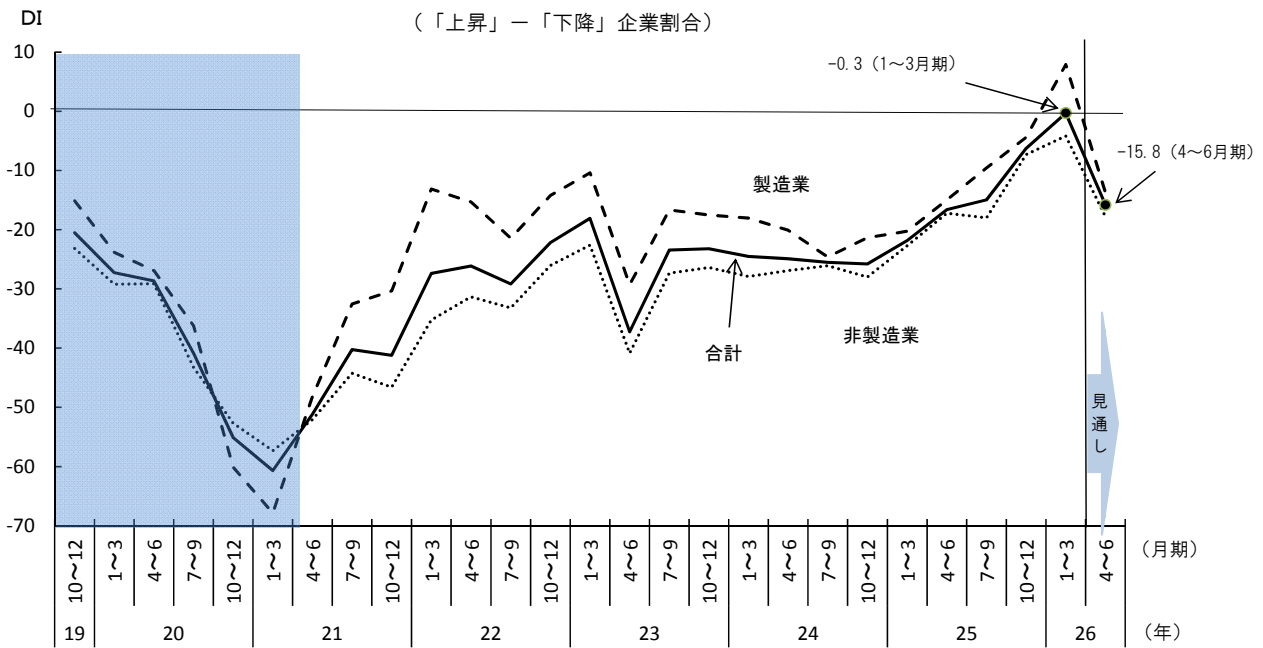
《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html> 》

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成26年1～3月期の調査結果の概要は次のとおりです。

【景気は緩やかに回復しつつある】

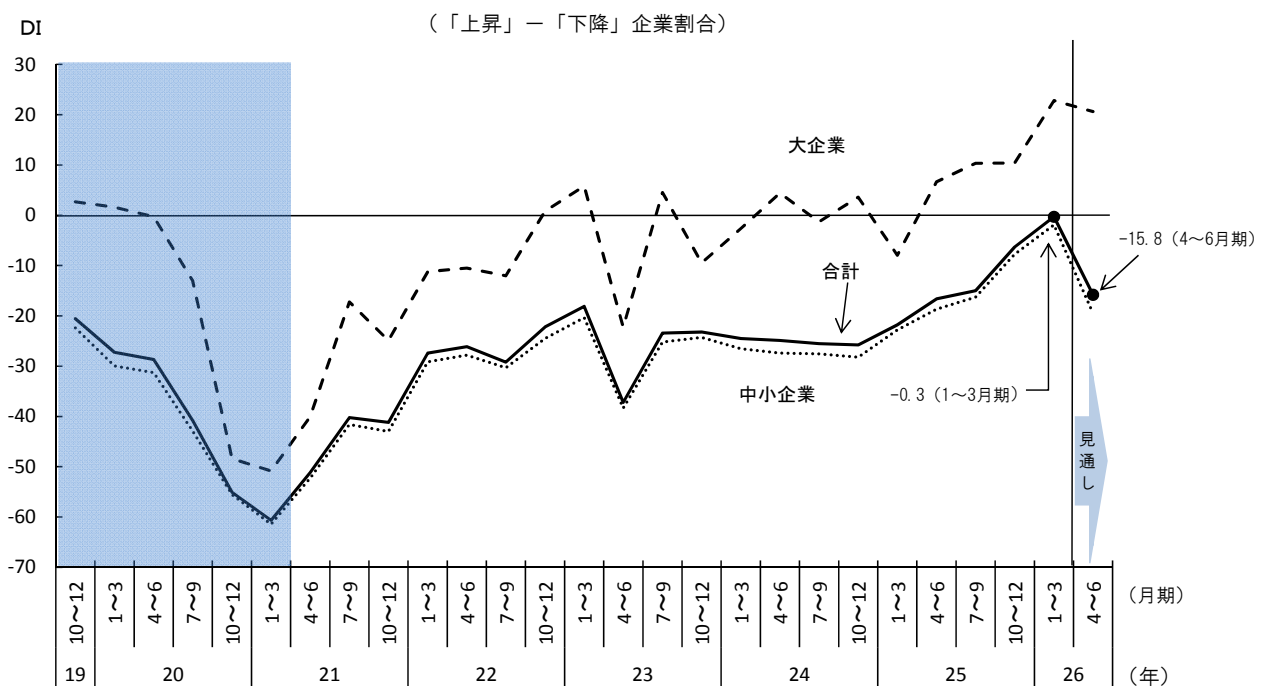
1. 業況判断DIは、内需の回復に加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要で製造業や大企業が大幅に改善したことで、全体では持ち直しから回復に移行している。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）



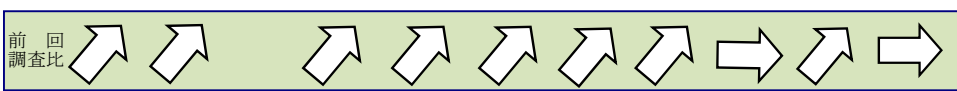
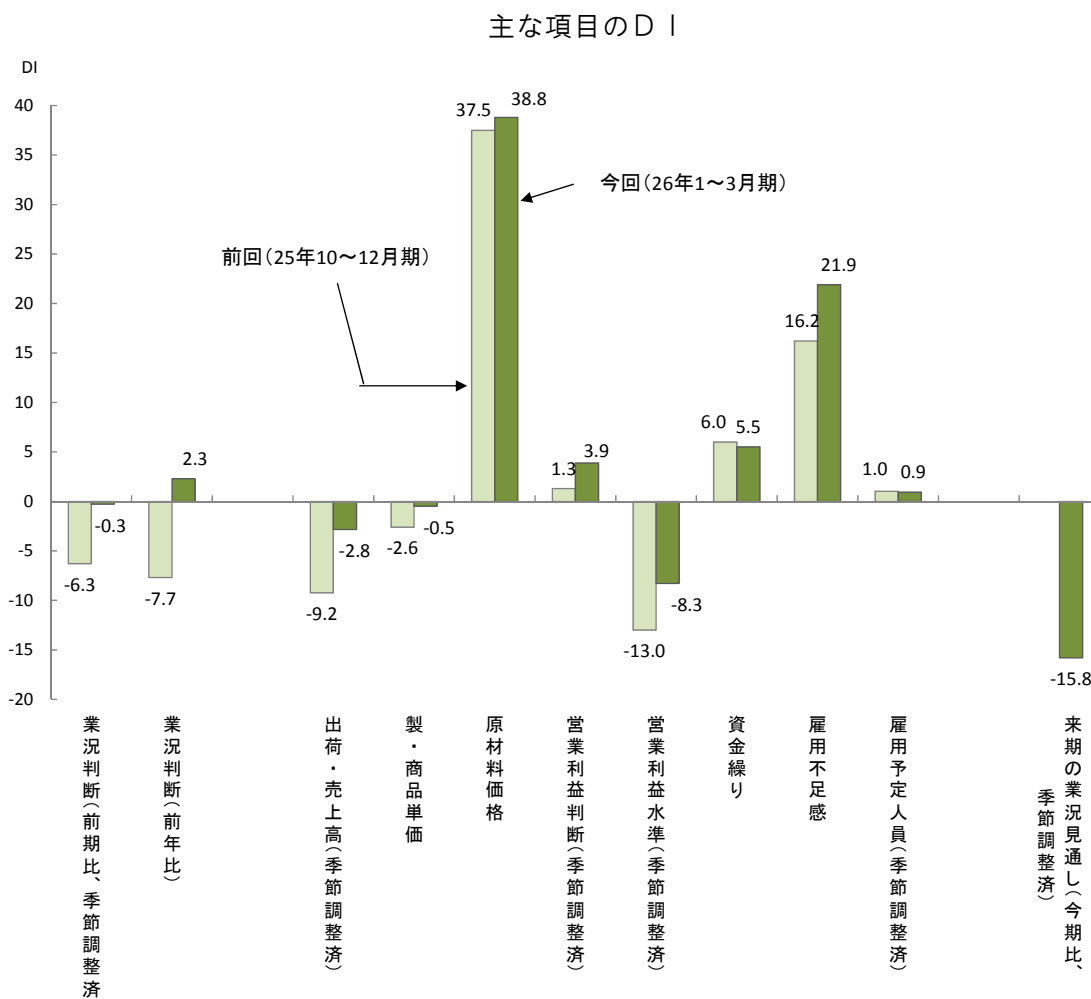
※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

業況判断DIの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

2. 主な項目のD Iをみると、出荷・売上高、営業利益水準は製造業・大企業を中心に改善し、営業利益判断も製造業・中小企業の改善で2期連続のプラス水準となるなど、全体の回復基調に貢献した。雇用面では不足感が一層強まるも、来期の雇用は横ばいとなっている。なお、来期の業況は、消費税率引き上げ後の需要の反動減もあり、D Iはマイナス幅が拡大する見通しである。



3. 26年4~6月期の業況D Iは、大企業を除き2桁の落ち込みとなる見込み。

業況判断D Iの推移(来期見通し)

年	23	24				25				26	
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
製造業	-17.5	-18.1	-20.1	-24.6	-21.3	-20.3	-14.9	-9.6	-4.4	7.9	-13.7
非製造業	-26.4	-27.9	-26.9	-26.1	-28.0	-22.7	-17.2	-18.0	-7.3	-4.2	-17.8
大企業	-9.5	-2.6	4.4	-1.3	3.6	-7.9	6.7	10.4	10.4	22.8	20.6
中小企業	-24.3	-26.5	-27.4	-27.6	-28.2	-22.8	-18.7	-16.3	-7.7	-1.9	-19.5
合計	-23.2	-24.5	-24.9	-25.5	-25.8	-21.8	-16.6	-15.0	-6.3	-0.3	-15.8

来期見通し